

テングソースの魅力発信！

～みんなでつなぐ地域の宝～

育成をめざす資質・能力：主体性 協働性 探究力 論理的思考力・表現力 知識・技能

1 単元について

地域や学校の特色と教師の願い

三原市には、八天堂のくりむパンやヤッサ饅頭など三原市民に広く親しまれている特産品がある。テングソースは、市民に親しまれるローカルソースで、三原市の道の駅やスーパー等でも販売されている。テングソースを生産している中間醸造は本校の校区内にあるが、テングソースについて知っている児童は限られている。

本単元では、テングソースの歴史や特徴を調べることを通して、テングソースにさらに興味をもち、そのよさや課題について気付くことができる。そこから地域の特産品であるテングソースをもっと大勢の人々に知ってもらいたいという思いをもち、課題解決に向けた活動を仕組んでいきたい。そして、テングソースを多くの人々に知ってもらえるように様々な取組を考える中で、郷土愛を育み、郷土への誇りをもつ児童に育ててほしい。

児童の実態

本学級の児童は、昨年度の総合的な学習の時間に関わるお菓子のPRをして、地域への愛着を深めてきた。昨年度は、三原市民誰もが知っているお菓子について調べていたが、今年度は、テングソースに焦点を当てて探究し、より三原への愛着を深めていく。長年三原市でローカルソースとして親しまれているテングソースであるが、「テングソースを知っていて食べたことがある」と答えた児童は4年生全体の27%であった。

7月のアンケート調査では、論理的思考力・表現力について自分の考えと理由を伝えていると答えた児童は、93.7%と自己評価は高く、できるようになったと感じている児童が多い。しかし、実際には自分の考えを表現する際、理由まで表現できている児童は半数程度である。このことから自己評価と実態に差異があることがわかる。

学習の題材

本題材では、三原の特産品「テングソース」をテーマとして学習に取り組んでいく。テングソースについて知らないことが多いことから、まず、自分達で調べる学習からスタートし、試食を通してテングソースのおいしさに触れる中で児童は、「テングソースについてもっと詳しく知りたい」という思いを抱き、仮の探究課題を「テングソースの魅力発見！」と設定する。本や、インターネットで調べたり、工場見学をしたりして、テングソースについてのおいしさの秘密や、ソースの特徴、歴史などを多面的に捉えながらテングソースへの理解を深めていく。探究を進める過程で、児童が、三原のテングソースに愛着をもっていく一方で、大手企業のソースがメジャーになっていることや中間醸造の方の思いや願いを知り、自分達で何ができるかを話し合う中で、真の探究課題「テングソースの魅力発信！」を設定していく。昨年度経験したポップや新聞、動画にまとめるなどの発信方法の中から自分が表現したい方法を選択できるようにする。工場見学やインタビューなどを通して分かったことを整理し、表現方法と情報を結び付けながら仲間分けしていく。作成した動画やチラシを見合ったり、中間醸造の方に助言をもらったりする活動を通して、多くの児童がテングソースについてしっかり調べたり考えたりできるようにしていく。このような課題解決の過程の中で、目的や意図に応じて情報を収集、整理しながら論理的に考えたり、自分の考えを主体的に表現したりする力を高めることができる題材と言える。

単元の目標

三原の特産品であるテングソースについて調べ、特徴や作り手の思いなどをチラシや動画に表現する活動を通して、地域のよさやそれを支える人々の願いや努力を理解し、多くの人々に三原の特産品に込められた思いやよさを知ってもらう工夫を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

(1) 総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

中間醸造の方やテングソースを愛用している人、保護者など様々な人から話を聞き、分かったことを表やグラフ等にまとめる作業を通して多様な角度からテングソースのよさや課題を捉えられるようにする。

○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

自分達の生活とテングソースを関連付けて考えられるよう、テングソースを使っている家庭やお店を調べ、自分達の生活との関わりを見つける。また、調べる中でテングソースは地元の三原で作られているにも関わらず、自分たちや周囲の人がテングソースについて知らないことがあるという事実に関心し、それを解決するために自分達にできることを考えさせることで、自己の生き方につなげていく。

(2) カリキュラムマネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

○国語科…「広告を読み比べよう」

広告を読む際には、作り手の意図や目的を考えながら読むことが大切であると学習している。チラシや動画を作る活動においても、どのような人向けなのかなど、相手意識を持ち、伝えたいことを焦点化することが大切だと実感させる。

○社会科…「わたしたちの県」「きょう土の伝統・文化と先人たち」等

社会科の学習において、全国各地の特産品について確認する。また、長年愛されている特産品には作り手の思いがあることについて考えられるようにする。

(3) 学習ツールの活用

○ICT機器

本学級の児童は、ジャムボードを使って考えを出し合ったり、検索機能を使って調べたり、調べたことをドキュメントにまとめたりする活動を通して、ICT 機器に触れる経験を積んでいる。指示された基礎的な操作を行うことはできるようになってきたが、文字入力に時間がかかる児童もおり、学習進度に差が出てしまうことがあるので、書く活動と並行して取り入れながら学習を進めていく。

本単元の ICT 機器の活用計画は次の通りである。

- ・課題の設定…知りたいことや調べたいことを確認するため、画像やジャムボードでテングソースの疑問を共有する。
- ・情報の収集…課題解決するために、検索機能を活用する。
工場見学の際に、記録として撮影機能を使用する。
- ・整理・分析…調べたことを整理し友達と意見を交流するためにジャムボードを活用する。
- ・まとめ・表現…動画作成するグループは撮影機能を使用する。

○思考ツール

本学級の児童は、様々な学習場面で思考ツールを活用している。しかし、思考ツールを使うよさを実感している児童は少ない。効果的な場面で思考ツールを活用し、思考を深めていけるように、以下の場面で活用していく。

- ・情報を整理する場面…Yチャート

3 単元の評価

(1) 内容のまとめりごとの評価規準

※太枠は本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動（小単元）における評価規準	
知識・技能	知識	地域の特産品に関する知識を関連付けて構造化している。	
	技能	探究の過程におけるICT機器や思考ツール等、課題解決の技能を習得し、学習の様々な場面で活用している。	
	探究的な学習のよさの理解	学習と生活のつながりを意識し、学習を振り返ることで、探究的な学習のよさを理解している。	
思考・判断・表現	「課題の設定」	探究力	地域の特産品に関するよさや問題点から問いをもち、課題を設定している。
	「情報の収集」		本やインターネット等を活用し、必要な情報を多様な方法で収集する中で、問いを解決したり、問いを更新したりしている。
	「整理・分析」	論理的思考力・表現力	目的に合う方法で筋道立てて思考し、共通点や相違点を見つけ、情報を精査している。 情報や事象を比較したり関連付けたりして、理由や根拠を表現している。
	「まとめ・表現」		相手や目的に応じて事実や自分の意見を効果的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解	活動の中で、自分の特徴やよさを理解し、異なる意見や他者の考えを受け入れようとしている。	
	主体性・協働性	主体性	自分で課題を決めて、目的に合うよりよい方法で課題を解決しようとしている。
		協働性	目的を考えて友達と話し合ったり、友達の意見をとり入れたりして行動しようとしている。
将来展望・社会参画	実社会、実生活の課題解決に取り組む中で、社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に生かそうとしている。		

(2) 単元の評価基準（本校で育成を図る資質・能力のルーブリック）

知識・技能および資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性】 自分で決めて行動する力	テングソースについて調べたり、情報をまとめたりする際に、自分で課題を決めて、目的に合う方法で課題を解決しようとしている。	テングソースについて調べたり、情報をまとめたりする際に、自分で課題を決めて、目的に合うよりよい方法で課題を解決しようとしている。
	【協働性】 みんなと協力する力	グループで活動する際に、目的を考えて友達と一緒に行動しようとしている。	グループで活動する際に、友達と話し合ったり、友達の意見をとり入れたりして行動しようとしている。
思考・判断・表現	【探究力】 問い続ける力	テングソースについての問いを見つけて、その答えを予想したり調べたりしている。	テングソースについての問いを見つけ、答えを予想したり調べたりし、分かったことをもとに新しい問いを見つけている。
	【論理的思考力・表現力】 筋道立てて考え、豊かに表現する力	意見の交流や発表の際に、自分の考えと理由を表現している。	意見の交流や発表の際に、筋道立てて思考し、相手意識をもって自分の考えと理由を話し方や書き方を工夫して表現している。
知識・技能		テングソースにかかわる知識やICT機器や思考ツールを活用する技能を身に付けている。	身に付けた知識・技能を学習や生活の中で活用している。

4 指導計画（全 20 時間 本時 12/21）♥：三原だるまプラン「ショックいきなり多発型」

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究	課題の設定 主 探 情報の収集 整理・分析 協 主 論 知	○ 昨年の活動を振り返り、今年度やってみたい活動を出し合う。(1) ○ ルーブリックの修正、OPPAの記入 (1) ○ テングソースについての疑問をインターネットや本等で調べ探究課題を設定する。(1) ○ テングソースの試食をして、他のメーカーとの比較をしたり、特徴をまとめたりする。(1) ♥ こんなおいしいソースが三原で作られているなんて知らなかった！ 仮の探究課題：テングソースの魅力発見！ ○ 自分たちで調べても分からなかった疑問から、中間醸造の方への質問をまとめる。(1)	・ジャム ボード ・ノート ・質問 シート ・行動観察
真の探究課題の設定・探究	情報の収集 整理・分析 主 論 探 課題の設定 情報の収集 整理・分析 協 主 論 知 自	○ 工場見学で中間醸造の方の話を聞き、疑問を解決する。(1)【自己評価】 ○ 工場見学で得た情報を整理し、感想を話し合う。(1) ○ テングソースについて知った事実をまとめる。(1) ♥ こんなに魅力があるのに知らない人が多い。 テングソースの魅力をもっと知ってほしい！ 真の探究課題：テングソースの魅力発信！ ～みんなでつなぐ地域の宝～ (仮) ○ 活動内容を決定し、計画を立てる。(1) ○ 様々な発信方法から、チラシと動画の2つの方法で発信することを決める。(1) ○ チラシと動画で発信することのそれぞれのよさと特徴をまとめる。(1) ○ 情報の内容による「チラシ」「動画」「どちらにも」の3つに分類する。 (1) 本時 ○ チラシと動画のどちらの発信方法にするか決めてグループ分けをする。(1)	・行動観察 ・感想文 ・ノート ・OPPA ・ノート ・ワーク シート ・Yチャ ート ・ジャム ボード ・ノート
活動のまとめ・評価	まとめ・表現 協 主 論 理 将	○ チラシや動画を作成する。(4)【外部評価】 ○ 活動について振り返る。(1)【自己評価】 ○ 本単元の学習を振り返る。(1) ○ 自己の成長について発表し合う。(1)【相互評価】 ○ 来年度の活動について、興味関心を話し合う。(1)	・成果物 ・感想文 ・ワーク シート ・OPPA

5 本時の学習

(1) 本時の目標

発信方法の特性と受け取る相手への意識をもとに、情報を3つに分類することができる。

(2) 本校で育成を図る資質・能力の評価基準（論理的思考力・表現力のルーブリック）★

B：情報をチラシや動画の特性と受け取る相手への意識をもとに3つに分類している。

(事実→結果)

A：情報をチラシや動画の特性や受け取る相手への意識をもとに筋道立てて3つに分類している。

(事実→思考→結果)

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ★評価（評価方法）
導入	<p>1 前時の学習内容を確認する。</p> <p>たくさん情報があるけど、全て入れたらいいかな？</p> <p>・時間（動画）も範囲（チラシ）も限られているからそれぞれに合ったものではないといけない。</p> <p>2 本時の問い、課題、探究の過程、本時で育成をめざす資質・能力を確認する。</p> <p>問い：どの情報をどの方法で発信する？</p> <p>課題：情報を「チラシ」「動画」「どちらにも」の3つに分類しよう。</p> <p>・整理・分析 ・論理的思考力・表現力</p>	<p>○ 既習事項（中間醸造の方の思い、チラシ・動画で発信することのよさ、発信方法の特性）を掲示で確認する。</p> <p>○ 前時の振り返りから、本時の課題を設定し、探究の過程、資質・能力を確認し、ふり返りの視点を示しておく。</p>
3分		
展開①	<p>3 ジャムボードで個人思考をする。</p> <p>情報を「チラシ」「動画」「どちらにも」で発信するとよいものの3つに分類しよう。</p> <p>・場所は動画で載せたらいいと思います。 →チラシを受け取る人は売っている場所にいる人だからチラシは必要ないからです。</p> <p>・ソースの種類はどちらにも必要だと思います。 →テングソースが3種類あることを知らない人がいるかもしれないと思うからです。</p> <p>・通な食べ方はチラシに載せるといいと思います。 →ソースを買うときに一緒に持って帰ってもらえて、手元に残るからです。</p>	<p>○ Yチャートを活用して、情報の整理をする。</p> <p>○ 黄色：HPからの情報 ピンク：中間醸造の方からの情報 青：愛用者からの情報 で色分けすることで、黄色とピンクの情報を偏りなく取り入れることを意識できるようにする。</p>
10分		
展開②	<p>4 ペアで交流する。</p> <p>個人で考えたこととその理由を友達と交流しながら、同じところを見つけましょう。違うところがあれば、質問しましょう。</p> <p>・同じところが4つあるね。違うところもあるけど、どうして詳しい歴史を動画にしたの？ →詳しい歴史は、文章にすると長くなるから、動画のほうがいいのではないかと思ったよ。</p> <p>・ソースの種類は同じだね。やっぱりどちらにも載せた方がいいよね。 →ソースによって合う料理と合わない料理があるから最初に3種類あることを紹介するべきだね。</p>	<p>○ ペアで交流する際に一致しているところに丸を付けて視覚的に分かりやすくする。</p>
20分		

	<p>5 全体で交流する。</p> <p>ペアで交流したことを、交流しよう。</p> <p>C 私たちのペアでは、ソースが3種類あることはどちらにも載せたらいいという考えが同じでした。理由は、ソースによって合う料理と合わない料理があるから最初に3種類あることを紹介するべきだと思ったからです。</p> <p>C 確かに、どのソースを買おうか迷っている人がいたら3種類それぞれどんな特徴があるのか知りたいね。</p> <p>C どちらにも載せたらいいに分けた情報がもう一つあって、中間醸造の方の思いは必要だと思いました。理由は、中間醸造の方がどんな思いで作っているのかを知ってもらえたら、よりテングソースのことを好きになってもらえると思うからです。</p> <p>C 僕たちも思いはとても大切だと思うよ。理由は、インターネットで調べてもわからないことだからです。</p> <p>T 中間醸造の方の思いやソースが3種類あることはチラシにも動画にも必要なだね。意見が違ったところについて話してみよう。</p>	<p>○ 全体交流の場面で、ペアで検討して同じところ、違うところの順でファシリテートしていく。</p> <p>必要に応じて、教師が学び合いをファシリテートする。</p> <p>【意見を引き出すファシリテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんのペアは、～な考えが出ていたね。みんなに教えて。 ・～の情報をどちらにもに分類した人は手を挙げましょう。 ・～の情報はどこに分類しましたか？ ・全部の情報を載せたらいいのかな。 <p>【整理し、まとめるファシリテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通点は何だろう。
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>6 学習したことをまとめる。</p> <p>それぞれの情報を3つに分類した理由をまとめよう。</p> <p>私は、(情報)を(チラシ・動画・どちらにも)に分類しました。理由は、…だからです。</p> <p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>今日の振り返りを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実を基に友達に説明したら、分かりやすく説明することができました。 ・最初は～考えていたけど、〇〇さんの意見を聞いて…という考えに変わりました。 	<p>○ ペアや全体で交流してから自分の考えをまとめることで、思考の整理をさせる。</p> <p>★ 本校で育成を図る資質・能力の評価(ノート記述)</p> <p>○ 文型を提示することで、まとめを書きやすくする。</p> <p>○ すべての情報について記述するのではなく、納得したところや思いの強いところについて記述する。</p> <p>○ 論理的思考力・表現力がどのように育ったか、交流したよさについて書かせるようにする。</p> <p>○ 次の時間はチラシと動画のどちらの発信方法で自分が発信するか決めることを伝え、活動の見通しを持たせる。</p>

(4) 板書計画

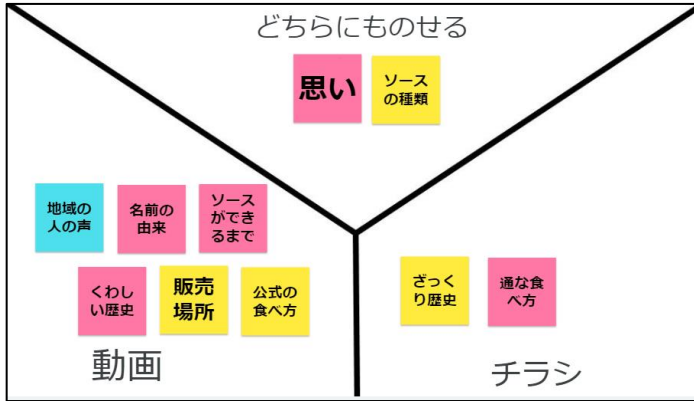
テングソースのみ力発信！ B 事実→自分の考え
 A 事実→考えられること→自分の考え

10/25 整理・分析 論理的思考力・表現力

① どの情報をどの方法で発信する？

② 情報を「チラシ」「動画」「どちらにも」の3つに分類しよう。

	インパクト	残るか	文章量	相手 (受け取る人)
チラシ	○	○	△	スーパー, 道の駅 →買いに来た人へ
動画	◎	×	◎	全校児童, HP(三原小) →あまり知らない人へ



③ 私は、(情報)を(チラシ・動画・どちらにも)に分類しました。理由は、…だからです。

★本時で意識した資質・能力

- ④
- ・～したら、～することができました。
 - ・～する力がのびました。

掲示

テングソースの魅力はスパイシーさ。いろんな人に食べてもらいたい。

中間醸造の方



これまで調べて分かったこと